

## 令和元年度 第2回滑川市行政改革懇談会 議事概要

日時：令和2年3月24日（木） 16：00～16：40  
場所：滑川市役所本館3階大会議室

### 【委員】

役職	氏名	備考
連合富山新川地域協議会滑川ブロック長	浦島成友	
悠友クラブ滑川 会長	柿澤清喜	
滑川市自治会連合会 会長	澤田隆之	
富山国際大学現代社会学部教授	長尾治明	会長
滑川市連合婦人会 会長	原洋子	
(公財)滑川市体育協会 副会長	廣瀬淳	
滑川商工会議所 副会頭	八橋謙二	欠席

### 【滑川市】

滑川市長	上田昌孝	
滑川市副市長	石川忠志	
滑川市教育長	伊東真	
滑川市総務部長	石坂稔	
滑川市産業民生部長	藤田博明	
滑川市建設部長	藤名晴人	
滑川市教育委員会事務局長	上田博之	
滑川市総務部総務課長	澤口幸二	
滑川市総務部財政課主幹	奥村勝俊	

### 【議題次第】

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 議事
  - (1) 第7次滑川市行政改革大綱（素案）について
  - (2) 第7次滑川市行政改革大綱実施計画（素案）について
- 4 閉会

## 主な発言内容

□市長あいさつ

□事務局説明（資料１・２）

□説明事項の質疑応答

委員：自主防災組織の防災訓練実施率について、各年度当たり１％の上昇という細かな数字だが、どれだけの組織があり１％がいくつの組織に当たるのか。

総務課長：今、140あまりの自治会があり、その中の８割程度で自主防災組織を組織している。パーセンテージについては、令和６年に実施率６０％の目標を掲げ、それに向けて徐々に実施率を上げていきたいというもの。

地区によっては、地区全体で訓練を実施する場合もあり、そういった場合は訓練を実施するかどうかで、実施率が大きく上下するという面もあるが、最終的には令和６年の６０％を目標にやっていきたい。

会長：前回、３Ｓサービスについて、「関連する施設にも徹底を」という意見をいただき、このように修正された訳だが、指定管理者やその職員においては３Ｓの意味合いを理解していると解釈して良いか。

総務部長：指定管理者に市の職員が出向しているところでは、しっかりと理解されていると思われるが、市の職員が行っていないところもあるので、そういうところには、今後しっかりと周知していきたい。

会長：そういうところもしっかりと対応をお願いしたい。

会長：私の大学も関係しているが、連携に基づく事業の実施ということで、県立大学とのSDGsの取組みについて説明があったが、COC+の連携事業は、富山大学が代表となって各大学・富山高専で事業を進めてきたが、文科省の補助事業としては今年３月で５年間の一区切りを迎える。今後も知の拠点事業を県立大学として実施するのは確認が必要。

事務局：県立大学には、今年度はSDGs、昨年度は市の子育て施策について委託事業という形で紹介いただいたものだが、元々は大学コンソーシアムの枠組みの中で地域課題について解決しただきたいということで、提案を募集したところ、県立大学が手を挙げられたもの。来年度以降も県立大学に限らず、他の高等教育機関も含め協働で取り組めるものがあればやっていきたい。

会長：次年度もオール富山ということで、高等教育機関で連携して取り組むことになっているので、これまで同様申請していただければ大学コンソーシアムで対応していくことになる。

委員：今ほどの話に関連して報告させていただくが、これで３年目になるが、国際大学のゼミの方にふるさと龍宮まつりの企画を手伝ってもらっていて、それで単位が取れるような仕組みとなっている。

会長：伊藤葵ゼミが中心になってやっているが、いろんな形で連携できればと思う。

**会 長**：この他、特に意見が無ければ、事務局から提示いただいた内容で承認となるがよろしいか。

<意見なし>

**会 長**：それでは、承認ということで、この計画に基づいて行政改革を推進して頂きたいと思う。以上で行政改革懇談会を終了し、事務局に進行をお返しする。

**事務局**：本日は、前回の懇談会の意見を踏まえ、再度必要な修正を加え、第7次行政改革大綱・実施計画を策定する。委員の皆様には策定後、郵送で配布させていただく。委年度末のお忙しい中、ご協力いただき感謝申し上げます。本日はこれにて閉会する。